

新規上場申請のための有価証券報告書

(I の部) の訂正報告書

株式会社マーキュリーリアルテックイノベーション

【表紙】

【提出書類】 新規上場申請のための有価証券報告書(Ⅰの部)の訂正報告書

【提出先】 株式会社東京証券取引所
代表取締役社長 山道 裕己 殿

【提出日】 2022年2月7日

【会社名】 株式会社マーキュリーリアルテックイノベーター

【英訳名】 MERCURY REALTECH INNOVATOR Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 陣 隆浩

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西新宿二丁目6番1号

【電話番号】 03-5339-0950

【事務連絡者氏名】 取締役コーポレート本部長 河村 隆博

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿二丁目6番1号

【電話番号】 03-5339-0950

【事務連絡者氏名】 取締役コーポレート本部長 河村 隆博

1 【新規上場申請のための有価証券報告書(Ⅰの部)の訂正報告書の提出理由】

2022年1月20日付をもって提出した新規上場申請のための有価証券報告書(Ⅰの部)の記載事項のうち、「第一部 企業情報 第2 事業の状況 2 事業等のリスク (5) その他リスク」に「⑦当社株式の流動性について」を追加記載するため、新規上場申請のための有価証券報告書(Ⅰの部)の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

2 【事業等のリスク】

(5) その他リスク

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____ 罫で示してあります。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

2 【事業等のリスク】

(5) その他リスク

(訂正前)

記載なし

(訂正後)

⑦ 当社株式の流動性について

当社の株主構成は当社代表取締役社長陣隆浩、同氏の資産管理会社、事業法人、当社役員等であり、本公募及び売出しによって当社株式の流動性の確保に努めることとしており、(株)東京証券取引所の定める流通株式比率は新規上場時において34.8%となる見込みです。一方、(株)東京証券取引所は流通株式比率の定義の見直しを公表しており、その適用以降の上場維持基準は25%であるところ当社の流通株式比率は25.2%にとどまる見込みです。

今後は、役員への一部売出しの要請、ストックオプションの行使による流通株式数の増加等により流動性の向上を図っていく方針ではありますが、何らかの事情により上場時よりも流動性が低下する場合には、当社株式の市場における売買が停滞する可能性があり、それにより当社株式の需給関係にも悪影響を及ぼす可能性があります。